**インターンシップ・フィードバックシート**

記入日: 年　　月　　日

＜記入者＞

 氏名　　　　　　　： 　 印

　 企業名・所属・役職：

**○学生・インターンシップ情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 学生氏名 |  |
| 大学・学部・学科・学年 |  |
| インターンシップ期間 | 　　　年　　月　　日　～　　　年　　月　　日　( 間) |
| 受入企業・組織の名称 |  |
| 担当した業務内容 | ・・・ |

**○基本評価** (※該当を●、1優れている、2やや優れている、3標準的、4やや劣る、5劣る)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基本評価項目  | 評価  | 評価コメント  |
| 取り組みの姿勢・態度  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |  |
| 自己成長への意欲  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５ |  |
| 担当した業務の達成度合  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５ |  |

**○行動評価** (※該当を●、1優れている、2やや優れている、3標準的、4やや劣る、5劣る)

※貴社新入社員に求める水準に照らして、評価およびコメントをお願いします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 能力評価  | 評価 | 評価コメント |
| 前に踏み出す力  | 主体性  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  | 　 |
| 働きかけ力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５ |
| 実行力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５ |
| 考え抜く力  | 課題発見力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  | 　 |
| 計画力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５ |
| 創造力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |
| チームで働く力  | 発信力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  | 　 |
| 傾聴力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |
| 柔軟性  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |
| 状況把握力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |
| 規律性  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |
| ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力  | ◯１　◯２　◯３　◯４　◯５  |

※大学の教育方針・インターンシップの目的等により追加すべき評価項目があれば項目を追加してください。

**○人物評価**

|  |
| --- |
| 強み／長所と考えられる点 |
|  |
| 今後努力を要すると考えられる点 |
|  |

**○学生への今後の成長に向けたメッセージ**

|  |
| --- |
|  |

**○大学教職員への申し送り事項**

|  |
| --- |
|  |

（書類の流れ： インターンシップ先企業担当者[作成]→学生・大学教職員）

＜目標設定・評価の指針となる項目内容の説明＞

|  |
| --- |
| **向上させるべき能力(社会人基礎力)** |
| 前に踏み出す力  | ・一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力 ・指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動する力  | 主体性  | 物事に進んで取り組む  |
| 働きかけ力  | 他人に働きかけ巻き込む  |
| 実行力  | 目的を設定し確実に行動する  |
| 考え抜く力  | ・疑問を持ち、考え抜く力 ・自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力  | 課題発見力  | 現状を分析し目的や課題を明らかにする  |
| 計画力  | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する  |
| 創造力  | 新しい価値を生み出す  |
| チームで働く力  | ・多様な人々とともに、目標に向けて協力する力 ・グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力  | 発信力  | 自分の意見を分かりやすく伝える  |
| 傾聴力  | 相手の意見を丁寧に聞く  |
| 柔軟性  | 意見の違いや相手の立場を理解する  |
| 状況把握力  | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する  |
| 規律性  | 社会のルールや人との約束を守る  |
| ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力  | ストレスの発生源に対応する  |

※大学の教育方針・インターンシップの目的等により追加すべき評価項目があれば項目を追加してください。

※社会人基礎力

「社会人基礎力」は、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念で､「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力、およびこれらを構成する12の能力要素が示されています。職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上では、基礎学力や専門知識のみならず、それらを『発揮する』ためのコンピュータのＯＳに位置する能力・行動力を身につけていくことが必要です。このような力は、自らの成長目標に向かって意識して取組んでいき、また周囲からのフィードバックを受けていくことで、インターンシップ、ゼミ活動、正課授業等あらゆる学びの場を通じて成長させることができるものです。

